

推薦受験の希望について

- ・推薦受験というのは学校長推薦でも自己推薦でも、その高校を強固な第一志望としていること、内定したら必ずその高校に入学することが前提となります。そういう強い意志をもつことが必要である受験方法です。
- ・ということは無事に内定が高校から出たのに入学しない、ということがないようにしなくてはなりません。(突然の転居などの場合は相談してください。ただし、学区が変わる場合は推薦の資格がなくなることもあります。)
- ・推薦で内定が出なかった(推薦に落ちた)場合は、その強固な第一志望から考えると一般受験で同じ高校を再び受験するという強い意志が求められます。(不内定で他の高校を一般出願したい場合は要相談。)

1 学校長推薦の出願資格 (私立高校・高等専門学校 共通)

学校長推薦で入学する生徒には、中学校の代表であるという自覚を持ち、学習面・生活面等すべての面で中学校でも高校でも一生懸命努力することが求められます。

また、学校推薦で入学した生徒は、様々な場面で代表生徒として活動することも求められます。本当に学業と両立できるのかを考えて希望してください。

学校長推薦 出願までの流れ	日程・他(予定)
保護者対象 進路説明会	10月31日(金) 推薦関係を含め保護者に説明。
推薦希望の申出締切	11月7日(金) 生徒から担任の先生に教育相談を申し出る。その後、推薦依頼書の用紙を生徒に渡す。
推薦依頼書の提出締切	11月11日(火) 推敲し完成したものを担任へ提出
校内の会議による数回の審査	審査を通った者が学校長面接に進む
学校長面接	11月下旬～12月上旬 学校長による決定
担任から保護者・本人への連絡	12月上旬を予定
推薦出願	※願書と一緒に学校長名で推薦書が提出される。

2 学校長推薦基準

学校長推薦の基準は以下のⅠとⅡの両方をすべて満たしていることとなっています。

Ⅰ 各高校(各学校)の推薦出願基準

- ・各高校の「募集要項」や「出願要項」参照。学習点、欠席日数、英語検定などが条件となることが多いです。

Ⅱ 上野幌中学校としての学校長推薦出願の基準

以下の条件をすべて満たしていること。

- ① 令和8年(2026年)3月に本校を卒業する見込みである。
- ② 当該学校で定める推薦基準に当てはまる。(学習点、欠席数、他)
- ③ 本人および保護者がともに希望し、出願する動機および理由が明確である。
- ④ 当該学科やコースに対する適性・興味・関心および学習意欲を有する。
- ⑤ 学校長推薦を受けるにふさわしい学校生活を送っている。
 - ・基本的な生活習慣や学習習慣が定着している。
 - ・本校の「生活のきまり」を守っている。
 - ・自らを向上させようとする姿勢や意欲が伝わってくる。
- ⑥ 中学校生活で真摯な取組が見られ、進学後も主体的な学校生活が期待できる。

※校外活動のみをもとにした推薦は、学校長推薦の対象外です。

※スポーツや芸術面等による推薦であっても、本校の推薦基準を満たしていること。

※高校のスクールポリシーを理解し、どの部分に自分が合うかを自分の言葉で説明できること。

道内公立高校 自己推薦

1 教育委員会から提示された自己推薦の出願資格は次の通りです。

- ① 出願先高等学校のスクールポリシーを理解しており、自らを各学校が示す「入学者受入に関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確である者。
 - ② 当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者。
 - ③ 3月に中学校を卒業する見込みである者。(すでに卒業している人は対象となりません。)
- ※スクールポリシーと入学者受入に関する方針は、各高校の Web ページで調べましょう。

2 出願者が提出する自己推薦書の内容は、次の3つです。

- ① 入学を志望する理由や抱負について
(その学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、その学校のスクールポリシーを踏まえて記入。)
- ② 中学校の各教科や総合的な学習の時間における学習について
(中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入。)
- ③ 中学校在学中における学校内外の諸活動について
(中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動等を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入)

3 次の点に留意し、担任の先生とよく相談してください。

- ① その高校にぜひ入学して、すべての面で頑張りたいという高い志がありますか。
- ② 学校説明会と個別相談に、保護者と一緒に参加していることが望ましい。私立高校の中にはそれを当然と考えるところもあります。
- ③ 筆記試験を回避したいというような安易な気持ちになっていませんか。
- ④ スクールポリシーや入学者受入方針を理解し、それに自分が合っている点を自分の言葉で説明できますか。
- ⑤ その高校や学科に対する適性や興味関心、意欲、高校卒業後の将来設計などを、具体的に相手に伝えることができますか。
- ⑥ 高校へ入るだけでなく、単位をとってきちんと卒業することが最も大切です。授業についていくために、一般受験しても十分に合格する力はありますか。
- ⑦ 推薦入学の生徒は、生徒会や学級等のリーダーとして期待されています。その心構えはありますか。
- ⑧ 出願に必要な「自己推薦書」を自分の力で書き上げられますか。
- ⑨ 自己推薦書を完成させるとともに、面接の練習、推薦に落ちた場合に備え筆記試験の勉強、高校によっては適性検査の勉強や入試当日の作文の練習も並行して行う必要があります。かなり頑張らないとなりません。しっかりとした強い気持ちが必要です。

※自己推薦に落ちて再出願の場合は、早急に保護者が願書を高校へ届けることになります。万一に備え、時間をあけておいていただくことになります。

※自己推薦で出願変更はできません。 ※面接練習は1人2回までとなります。

※推薦入試を実施しない高校(近隣): 札南、札北、札西、札東、月寒、平岡、南陵、東豊、あすかぜ、稲雲、江別普通科、北広島西、石狩南

4 推薦受験決定までの流れ(概要)

- ① 推薦受験を考えている人は、自分から担任の先生に進路相談をお願いします。
- ② 私立高校の推薦受験は、校長推薦も自己推薦も内申点や欠席数などの規定がある場合がほとんどです。条件に合わない生徒は出願できません。「生徒募集要項」などで調べましょう。
- ③ 11月 保護者対象進路説明会で推薦受験、併願受験などの手続きを説明します。
- ④ 12月 2学期末懇談で出願先決定となります。同時に出願方法も決定します。
- ⑤ 2学期中に自己推薦書を書き上げ、提出となります。